

### 人口と世帯数 (2月末)

	男	女	計	世帯数
馬路	970	966	1,936	527
魚梁瀬	635	605	1,240	458
計	1,605	1,571	3,176	985

## 林業構造改善事業

### いよいよ本年実施へ

小規模林業の規模拡大と協業の推進で経営構造の改善をはかり、林業所得を増大しようとする。林業構造改善事業の計画策定が進められています。この事業は昭和三十九年度から四十六年度までの八年間に全国で一、三〇〇市町村(昭和三十九年度は九二市町村)を指定、一市町村三年間の継続事業で、四〇年度から実施に移り四九年度に終了するものです。本県では馬路村の他に仁淀、物部の両村が本年度指定地となりいよいよ八千万円近い総事業費で来年度から本事業に移ります。

#### 林業所得の増大を

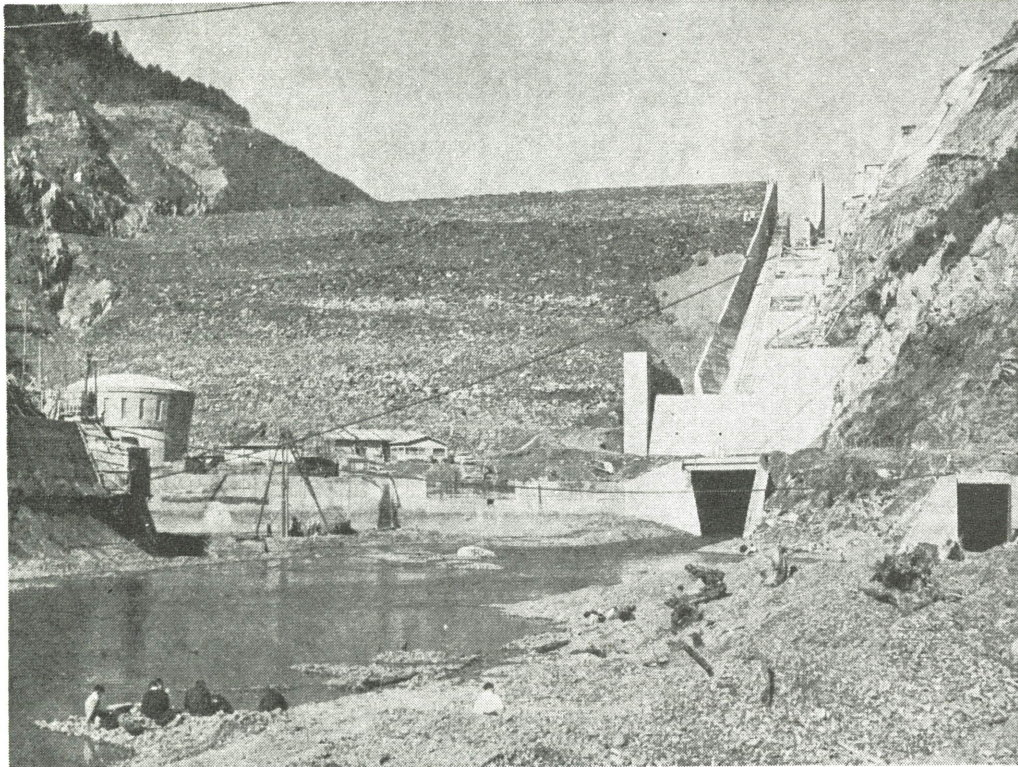
林業は他の産業とは違って三〇年も四〇年も先でなければ投入したか資金がえってこない大変不利な条件が伴ってあり、計画を樹てるとしても将来の見とおしがつきません。けれども政府は昨年、林業基本法を制定し、今後の林業政策の目標を示しました。林業が国民経済において、いかに重要な役割を果し

ているか、林業従事者がその重大な使命を背負っておることからして三〇年もしなければかえってこない不利な条件にある林業ではあるけれど、これをあらゆる面から補正し、生産を高め林業従事者の所得の増大を計ろうというのです。

また、農山村の労働力が他産業へ流出することに対しては、新しい技術と計算された、もろかる林業経営を行うようにしなればなりません。そのためには喰えるだけの山林がなければならぬ。それに昔ながらの造林、伐出方法では能率もあがらないので近代化、即ち林業機械を導入して林業の構造を改善する必要があります。

#### 全国一、三〇〇地域で

そこで政府は、この農山村地域に対して一定の基準を設け、その市町村の森林面積がもっとも



昭和38年2月着工した魚梁瀬ダムはほとんどが完成。最大貯水量1億立方メートル、西日本随一を誇るロックフィルダムは威容な姿で、貯水準備OK!! (写真は魚梁瀬ダム南側全景、左下は魚梁瀬発電所)

### 1・2月 村のあゆみ

#### <1月>

- 4日 御用始
- 6日 選挙管理委員会が開かれました。
- 14日 魚梁瀬忠霊塔落成式、並びに慰霊祭があわせ行なわれました。また同日魚梁瀬営林署貯木場の落成式が行なわれ、村長、議長らが参列しました。
- 15日 成人式 26人の方が祝福を受けました。
- 26日 し尿処理場の検査があり、県から係員がまわりました。

#### <2月>

- 2日 消防の出初式が行なわれました。
  - 8日 中芸地区町村合併研究協議会が田野町でひらかれ、県地方課長を始め中芸各町村首脳者同志で話し合いされました。
  - 12日 臨時村議会 日浦部落内の道路舗装費、公用車購入費など251万円を追加されました。
  - 15日 魚梁瀬教員住宅が竣工しました。
  - 15日~17日 東京で林業構造改善事業全国大会が行なわれ、村長、担当係2名が出席しました。
  - 20日 県知事が来村し、魚梁瀬丸山台地等視察され村長、議長から各種の陳情を行いました。
  - 22日 朝日出、谷山の各林道の竣工検査がありました。
  - 28日 森林農協の通常総会が開かれ役員選挙など行なわれました。
- なお、以上の外、林業構造改善協議会は1月8日、11日、18日、25日、2月6日、15日の各日開かれ、また、分水等電源対策委員会は、小委員会を含め1月12日、26日、27日、2月10日25日に開かれ研究討議しました。

### 発刊のあいさつ

村長 山崎 公好



ようやく春めいてきました。村民の皆様、御健勝にお越しのことと存じます。昭和三十九年度もあと数日となりませんが、旧年中は、本村にとって、開びやく以上を皆様のお手元に配布するに当り一言、御挨拶申し上げます。

おおよそ広報こそは、近代地方自治における要ともいふべきで、住民と自治体とを結ぶ最大かつ最高の施策であり、必要かつことのできないものと思っております。本村においても過去においてこの種のものを行って来た一時期も、あったかと記憶しますが、残念ながら、本日発行に至るまで、本格的になし得なかつた。

とは申しながら有線放送は、その施設の老朽化、電源開工事に伴う移転工事、財政的制約等故障の続出で、御迷惑の掛けどうしでありましたが、魚梁瀬地区は、もう目途がつかましたし、馬路地区も、少くも本年

年中には御期待に添える施設にする予定であります。公聴会も各部落、事業所等の巡回を本年も行ないたいと存じます。また新聞は、御覧のとおり、編集の拙なさいで、御期待に添えるものではないかと存じます。係員一同、大いに勉強し、よりよい広報活動を行ない、地域住民の相互の理解と信頼を深め、より良き人間関係を樹立し、村行政の円滑な成長、発展を期したいと存じますので、皆様におかれましても、御意見をどうしお寄せ下さり、叱咤激励下さるようお願いいたします。

以上、広報「うまじ」の発展を心から、願ひながら発刊の御挨拶とします。

も多く(500ha以上)しかも、民有林面積も多く(1000ha以上)造林意欲の盛なところを選び、一地域の事業期間を三年とし、全国一、三〇〇の対象地域へ一時期に、どっと資本を投入し、効果をあげようという訳です。

#### 入会林野の近代化

第一に、経営基盤の充実に、入会林野の近代化については、共有山をもっている林家(約四〇〇戸、山林約二〇〇〇ha)をなんとか将来個人登記のできるようにしたいものです。

#### 林道網の拡充

第三に生産基盤の整備で、林道の開設です。電源開発によつて、主な道路は出来ましたが、

#### 試験林の実施

第五に、早期育成林業経営の促進については、試験的に行なわれるもので、森林組合、または協業体を対象として、その地

#### 機械化で能率増進

第四に、資本装備の高度化では、木材生産のための機械を購入して生産性を高め、造林事業に対しては造林のための刈払機、植穴掘機等の機械化することによって、能率をあげ所得を増大しようとするものです。

#### 特認事業で抽子、梅、栗など

その他、その地域で、もっともすぐれた産物等があるとすれば、それを特別に認めて貰って行う特認事業があり、村では、抽子、梅、栗を取りあげ計画中です。

#### 構造改善の先進地として

以上がその概要ですが、林業構造改善事業そのものは、けつして大きい期待をかせ、この事業によってのみ村が急速に、よくなるというような事業ではありませんが、しかし、少くとも村の将来発展への一つ段階であることは間違いないと考えられます。

林業基本法も生れたばかりでこれから、いろいろ林業者のための法がつくられるでしょうがそのまっただ中に、いよいよ本年四月から村は林業構造の先進地として改善事業を実施するわけです。

たばこは村内で  
買いました

## 39年村のあゆみ

- 1月4日 御用始め
- 6日 消防出初式
- 15日 成人式、33名の方が祝福を受けました。
- 23日 臨時議会、給与改定など11議案を議決、一般会計648万円追加、5,386万円となりました。
- 3月8日 桜苗木村内に約2000本植樹
- 19日 公明選挙の会
- 24~29日 定例議会、昭和39年度予算1億5,085万円と本村開びやく以来の1億の大台にのる。その主なものは魚梁瀬小中学校、プール、体育館などに5,860万円、魚梁瀬教員住宅1,032万、魚梁瀬公民館680万、谷山林道に485万、朝日出林道に386万など電源開発に伴う公共施設費に充てられ、その財源は、電源の補償金が、4,776万、村費が1,300万、村有林の売却による3,400万などである。その他、法律の改正に伴う財務関係条例など24議案が審議可決された。
- 4月14日 魚梁瀬丸山台地の竣工式が県知事など臨席のもとに盛大に行なわれました。
- 5月11日 魚梁瀬小中学校の地鎮祭が行なわれました。
- 21日 臨時議会、助役に小松千歳、収入役に乾年受が各々再任、議会の同意を得ました。
- 6月3日 魚梁瀬大火、製材工場など焼失面積1,317㎡、死者1名を出し損害も1,700万円をこえる未曾有の大火となりました。
- 15日 基幹道路開発推進協議会が発会しました。小石川から徳島県海南町大木屋まで(約14.5km)道路を開発しようとするもので、徳島と高知県東部を結ぶ最短距離として関係官公署へ、海南町とともに働きかけをしております。
- また、本日から村政座談会を開始、14会場、延500人の村民とひぎをまじえ、話し合いを行ないました。村民からはし尿、塵芥処理、道路舗装、学校給食の改善などの要望が出されました。村ではこういった村民の声をもとに明るい村づくりを進めてまいります。
- 16日 魚梁瀬公民館の地鎮祭が行なわれました。
- 24日 広報、有線の審議会が開かれました。
- また、同日、公明選挙の会も開かれました。
- 26日 青少年対策推進本部が発会しました。青少年の非行防止と健全な育成を推進するため、村内各種団体長やPTA、学校などから関係者が出席して、本部のあり方、推進方法などについて協議しました。
- 30日 定例議会、中芸町村合併研究協議会条例が制定され、また836万円の補正予算案が議決され、朝日出谷山各林道工事費、消防団魚梁瀬分団費などが追加計上されました。
- 7月13日 魚梁瀬の塵芥処理場が完成しました。
- 8月6日 臨時議会、し尿処理場建設工事請負費1,154万が可決されました。
- 26日 納涼祭、盆踊りが盛大に開かれました。
- 9月7日 魚梁瀬公民館落成式と、消防団魚梁瀬分団発会式が、新装なった公民館で関係者を招き祝賀会が行なわれました。魚梁瀬分団は団員10名、小型動力ポンプ同積載車各一台をもって、魚梁瀬地区の防災にあたります。
- 24~25日 台風20号来襲、全壊住宅6、半壊住宅12、等650棟が損害を受け、ことに山林の被害がひどく1万石、5千万円の損害、被害総額にして、1億円をこえる未曾有の被害をこわした。
- 30日 定例議会、昭和38年度の決算書が認定されました。一般会計では、歳入が6,133万円、歳出が5,003万円となり1,126万円が39年度へ繰越されました。しかし37年度から1,338万円繰越されているので、38年度単年度収支としては212万円の赤字となり、国保、有線等の会計を加えると、かなりの赤字となり苦しい台所となりました。
- 10月25日 村民運動会
- 29日 本月27日附で県知事より林業構造改善地域として指定書を受け、いよいよ構造改善事業に着手しました。
- 10月18日 魚梁瀬小中学校落成式。総工費6千万円近い、山間にはまれにみる施設の完備した文化の殿堂が完成しました。
- 22日 魚梁瀬西川溪谷で、もみお祭が行なわれました。
- 26日 中芸地区消防防火パレードが行なわれました。
- 28日 ガン検診が初めて行なわれ大勢の方が受診しました。
- 12月8日 中芸地区町村合併研究協議会が開かれ会長に村長を選び、今後の進め方等について協議しました。
- 15日 馬路地区の慰霊祭が行なわれました。
- 26日 定例議会、職員の給与改定、馬路地区の塵芥処理場など738万円追加計上され、総予算は1億8千883万円となり、新しく教育委員に公民館主事岡田長康が選ばれました。
- 28日 御用納め

至石仙

魚梁瀬郵便局

農協支所

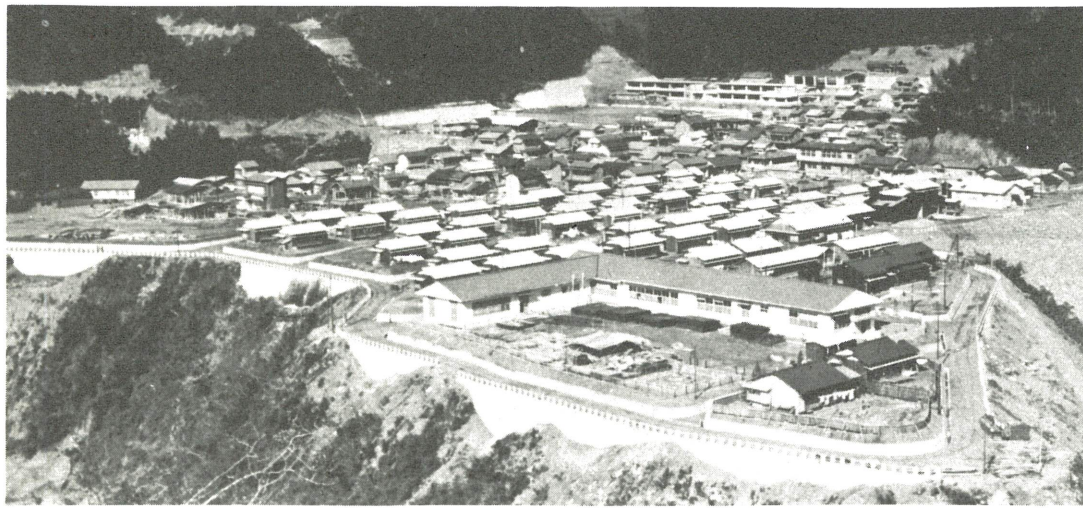
右 塵芥処理場

下 し尿処理場

魚梁瀬小中学校 (1.5ha)

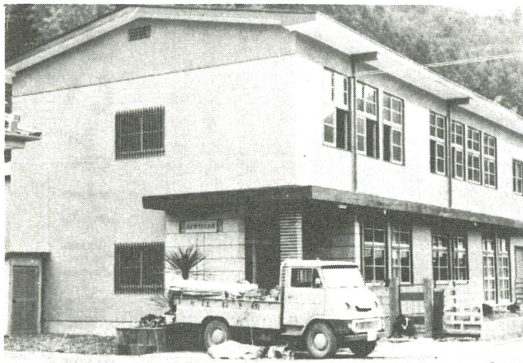
正面が教室、教員室等  
右後に見えるのが僻地集会所(体育館)  
手前が25坪プール

# 地の全ぼう

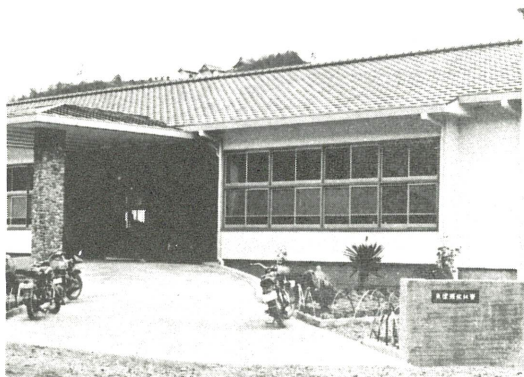


魚梁瀬丸山台地全景 (10ha 3万2千坪)

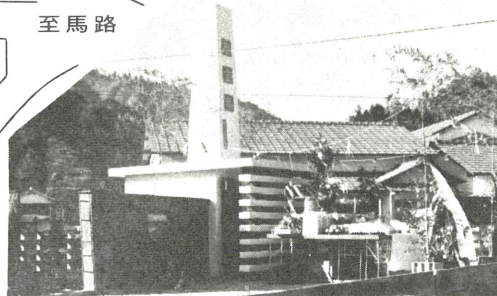
一番手前が営林署・最も奥に見えるのが小中学校  
右中央の二階建が公民館  
左端空地が観光用地



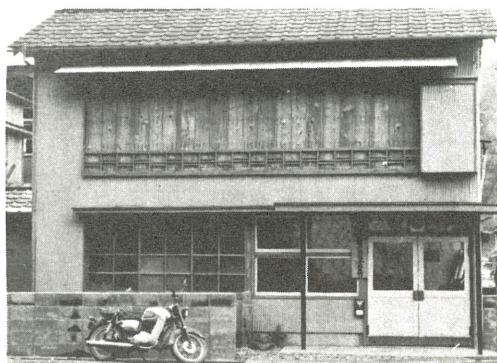
公民館(支所)



魚梁瀬営林署庁舎



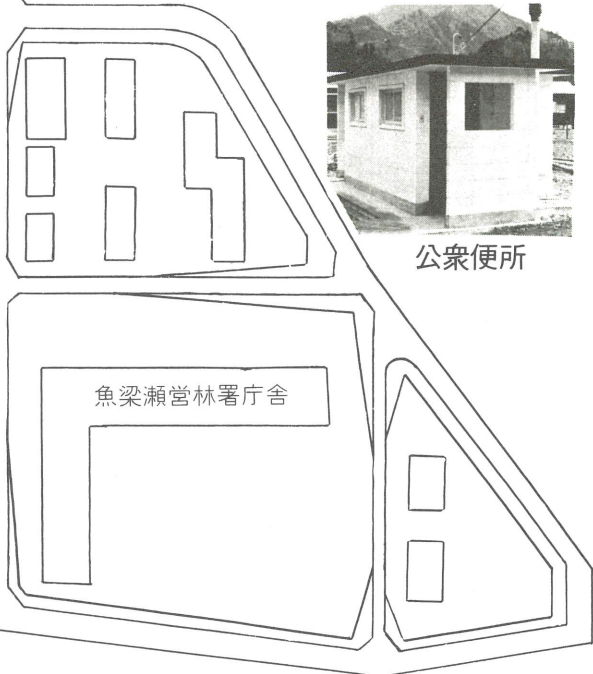
20柱霊の眠る忠霊塔



魚梁瀬巡査駐在所



公衆便所



S = 1 / 20,000

(電) 源開発にもなつて水没する魚梁瀬部落を、どうするか、ということがきまなければ、魚梁瀬ダム構築がまかりならぬというのが昭和二十六年頃の世論でありました。当時、四電、住友両社の競願で、分水案と本流案の二案があり、実害の少ない住友本流案を専ら支持したものでした。

(昭) 三十一年、溝淵増巳知事になるにおよんで、電源開発にからめて一挙に奥地開発を目論んで、再び、魚梁瀬ダム建設計画が持ち出されました。

(そ) れより以前、両社競願は開発の促進にはならないとして四電宮川社長は電源開発KKによる

(三) 十一年四月、溝淵知事一行が、電源開発地点の視察と部落民の説得に來魚されたが、いわゆるダム反対の運動はこの時をもって事実上終った

(同) 年十一月八日、電源開発に関する第一回の協定書

(移) 年十一月八日、電源開発に関する第一回の協定書

(補) 償基準については、会社と対策委員会との数次にわたる話し合いにもかかわらず、妥結に至らないまま、三十八年十月より個人交渉に移つたのですが、ここにも難交渉が続出で、一部を除いて造成工事に着手したのは、三十八年二月でした。以来、空費工事で、同年十二月には、おおよそ完成。工費約三億円、実際の宅地にあ

が知事 村長の間にとり交わされて、ここで始めて移転地「三万坪」という文字が文書の中に、現われてきたのでした。

(覚) 書は交換したものの、その実施までには、なお補

てれば坪当たり二万円を優に越す 全国的にも、例をみない集団移転地造成という点で注目に値するでしょう。

(三) 十九年四月十四日、電源開発KKから馬路村へ台地の引渡式が、知事臨席のもとに行なわれま

した。

ここに、学校、営林署、一般住宅地と、それぞれ分割され、続いて逐次、移転が開始されました。

村では学校、公民館はもとより、簡易水道、し尿及び塵芥処理場と各々、移転並びに新設を既に完了し、またダム周辺の林道網につ

いては、一部竣工した谷山林道

をはじめ、和田、野久保、赤石小石川線と逐次年次計画をもって実施の予定です。

(又) 台地内には二カ所に公共的広場を設け、一つは四百数十坪の小公園、一つは三百余坪の観光施設地帯とし、なお外に小緑地帯も設け、区画割りに潤いが添えられています。

(二) うして、一般住宅も、おむね移転を終え、今はただ貯水開始をまつばかりとなりましたが、ダムに映える美林とともにいつまでも美しく、住みよい丸山台地であるよう心から願いたいものです。(写真は台地竣工式記念植樹する知事)

# 中芸地区へき地教育研究会

## PTA分科会記録より

### 親と教師が一つになってへき地解放の教育を

二月十八日魚梁瀬校で馬路北川両教委主催の郷地教育研究会が開かれた。この日、魚梁瀬PTAの現状と問題点の特別分科会がもたれ、馬路七名、魚梁瀬二十二名、久木、小島、管ノ上各一名が主席、島田魚梁瀬PTA会長司会のもとに終始なごやかに会が進められ、試みとして成功だったと思えます。

- 自己紹介後出された話題は
- ①へき地教育の向上策
  - ②学校参観日の
  - ③昔の子と今の子
  - ④PTA会員研究のこと
  - ⑤馬路村内の教育問題
  - ⑥家庭学習のあり方

「仕事の関係で集まりが悪い」「日曜日にやってほしい」という魚梁瀬の各参観者の声は次のようなアンケート(一月二十三日参観日調査)の集約を参考にし

- 皮切りに馬路PTA会長から「子供の学習意欲や生活態度とPTAの取り組み」が提起されたが当日配られた魚梁瀬PTA新聞(八号十三号)に関連して話題の中心になったのもうで「PTA文庫」や、スクール・バスの件が魚梁瀬からくわしく出された。

#### 父親も参観に

学年が進むにつれて「家庭学習のさせ方」に困っているという馬路一母親の発言から学校参観日のことにはいり馬路小学校

春、芽ばえ時  
非行、暴力の芽は早い  
うちにとりましょう。  
馬路村青少年問題  
対策協議会



「昔の子と今の子」について  
①なり物(みかん、柿等)を盗らぬ  
②男女間の喧嘩が少なく  
③嘘を云わぬ(正直な)  
④全体観(集団意識)が見える

「此り」はちがう「一つ」は四つほめよ」という意見から反抗期(とくに中学生)の子供の取扱いに発展し、反抗期を人生の節目人間の成長として見る

- A、参観日出席(23)欠席(57)  
B、欠席理由  
1 知らなかった (1)  
2 仕事の都合 (41)  
3 病気のため (7)  
4 子供がいやがる (1)  
5 その他 (6)  
C、日曜参観日に賛成(32)反対(6)いずれでもない(36)

#### 文化祭雑記

馬路中 前田 道夫

馬路中学校では、二月二十一日の両日にわたり、第二回文化祭を開催しました。三十八年一月技術、家庭科の施設として工作室ができましたのでそれを活用して生徒が学習してきた成果を父兄有志の方々に見ていただくこと、昨年第一回を開き大変好評をえました。本年度は技術家庭科を中心に、他の教科でも協力し、中学教育をより広く理解して貰うようにしました。

冬休みの宿題として生徒が研究した新旧漢字対照表や、英字の略語解説、社会科の略語解説、社会科の時事スラップなどが入りました。また進路指導の

安田川、川平の取水工堰工事ほとんど完成したとき、分水に伴う補償交渉はいかようになっているか、お知らせ下さい。

村長様

お答え  
安田川分水問題については、三十八年八月以来、現地調査や水量等について、会社側について、会社側と数回にわたる交渉を経て、基本的には県の水利使用の命令書によることと意見が、おむね一致し、更に、各井セキ水路の補修や金銭的決済の内容などで幾回となく交渉を続けてきました。

#### 拝啓村長様

中ノ川は土水路はコンクリート水路とし、現取水点より、更に三〇枚、上流に延長、トンネルを川の中で取水できるように施行する。ただし、堰堤は造らず自然流入式として、水門を設けることとしています。

水利使用者間において適宜調整を図ることとなっています。まだ調印の段階には至っていないが、近い将来には各関係者との意見調整ができればと思われので、これをもって、かんがい用水に關しては一応、落着くこととなるが、他に井戸の水量、あるいは漁業補償等いずれも、決定的な問題には至っていません。分水によっておこる諸問題のうち、かんがい用井セキ水路についてのみ、おむね妥結に近いという実情でお答えにえまます。(40・3・1現在)

#### もっとPTA間の交流を

会員研修については

- ①PTA新聞、学校タヨリ
- ②雑誌「母と子」の推せん
- ③講演会「母と女教師の会」
- ④部落PTA PTA A学級

#### 教員数の確保を

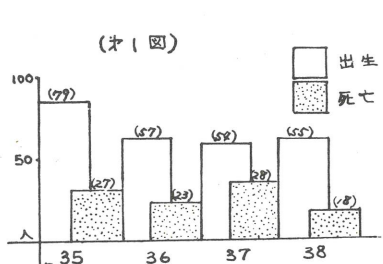
最後に、馬路より、「今後の児童生徒減と教員引上げ問題が大きな話題になり、馬路中だけでなく魚梁瀬も(その他島、小島管ノ上も同様)悩める問題として

①へき地教育振興のため、現在の教員数を減さない



#### 保健婦室

御存知ですか?  
最近の馬路村では何人の人が生まれ、また亡くなっているか。過去四年間の統計をみてみましょう。第一回は、昭和35年から38年までの出生と死亡の実数をかかげてあります。

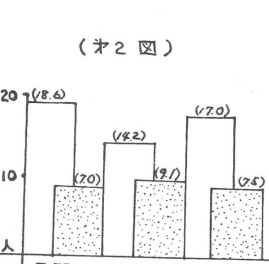


このグラフにより、本村の出生は、人口に比べ、高く、死亡は、低いということがわかります。ちなみに、高知県の14.2という出生率は、全国でも最下位で人口の県外流出と、相まって、将来の高知県人口の激減が心配されております。

し村の人口は三千二百人ないし三千三百人前後で激しい増え方を示さないのは、村出へ転出する人の多いことを、示しています。

もう弥生の月、あちこちで花の便りも聞こえよう  
☆編集子はなにをしようや  
いつ新聞は、でるぜよー頭の痛いお叱りを、受け数ヶ月、ここにやっとなら生れました。

それでは、馬路村の出生と死亡は、全国や高知県と比べて、どうでしょうか。



☆思えば、誠に難産、☆産むは案ずるより易し☆結局、編集子の怠慢でした。☆心はもう次号五月号へ、乞う御期待を!!

#### ご出産おめでとうございます

氏名	性別	年月日	父	母	続柄	部落
中村 真奈	女	12月26日	真一	敦子	長男	相影
芝野 智之	男	11月29日	利香	香代	長男	相影
野村 ユカ	女	11月11日	利香	香代	長女	相影
久保 佳代	女	11月16日	幸磨	善子	長女	相影
大野 英人	男	11月21日	善信	善子	長男	相影
大野 由美子	女	11月21日	善信	善子	長女	相影
小松 正和	男	11月26日	善信	善子	長男	相影
清岡 久美	女	10月8日	善信	善子	長女	相影
新玉 幸恵	女	10月10日	善信	善子	長女	相影
新開裕美子	女	2月14日	善信	善子	長女	相影

#### ご冥福をいのります

氏名	性別	年月日	続柄	部落
山本 兼菊	女	12月22日	世帯主	中ノ川
三宅千代栄	女	11月1日	母	中ノ川
手島 勝義	男	11月9日	母の伯母	魚梁瀬
井上 政芳	女	11月4日	母	魚梁瀬
小松 重信	男	11月21日	母	魚梁瀬
大野 重信	男	11月21日	母	魚梁瀬